広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話 ☎0091

# 町見武道館が完成

## 一階＝剣道 二階＝柔道場

昨年の十一月から工事を進めていました町見武道館が、町見中学校グランドの東側に完成しました。

鉄筋コンクリート二階建で延六百三平方メートル、建設費は建物本体工事費七千二百六十万円のほか、設計監督料、剣道用具などの備品購入費、用地買収費等を含めますと総額八千三十八万円で建設したものです。

地区民、小中学校児童生徒の練成の場、コミュニティ活動の場らしく風格ある建物になっています。

一階が剣道場（二百三十二平方メートル）のほか、シャワー施設、湯沸室、便所、倉庫。

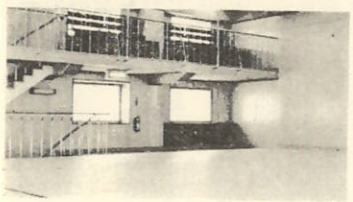
二階は柔道場でタタミ百二十八枚が敷れております。また、同時に約四十人収容できる観覧席も設けられています。

柔剣道場ともに公式試合のできるスペースを持っているほか、床面は弾力性のあるクッションゴム装置を完備するなど近代的な設備を導入しています。

柔剣道は、日本の伝統のスポーツであり、最も日本人に適したものです。

「健全な肉体に健全な精神が宿る」ということばのとおり、こんど、この町見武道館が地区民あるいは小中学生の練武施設として有意義に活用されることを願うものです。

▲ 建物は地区民、小中学生の練成の場らしく風格がにじみでています



◀ 2階の柔道場は観覧席が設けられています

### 利用申込みは 町見公民館へ

町見武道館を利用しようとする場合は、町見公民館へ申込んでください。所定の申込用紙を準備致しています。

また、後始末には充分きをつけてください。

◎昭和五十四年度一般会計補正予算（第一号）

伊方町議会第九十七回定例会が六月十八日招集され会期一日間で開催されました。

今回の定例会で提案された議案は、昭和五十四年度一般会計補正予算（第一号）、固定資産評価審査委員の選任など八議案のほか、陳情一件が上程されました。

審議の結果、全議案可決されました。

また、豊之浦小学校体育館兼特別教室設立についての陳情と町見中学校技術家庭科等教棟移転改築についての陳情は、文教厚生委員会に付託されました。

可決されました主な議案はつぎのとおりです。

◇ ◇

◎環境監視委員会条例の一部改正

いままで環境監視委員会は二十三人で構成されていましたが、一人増員され二十四人となりました

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

七月七日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に山下春義氏（田之浦）が再任されました。任期は三年間です。

町には、山下春義氏のほか菊池武雄氏（中之浜）、菊池芳勝氏（川永田）の三人が選任されており、こうした人たちは、町民のみなさんから固定資産税の課税についての不平、不満の申し出があった場合、固定資産評価審査委員会を開き検討することになっています。

### 固定資産評価審査委員に 山下氏再任

## お世話さまです

### 補導員さん

町の補導員さんがきまりました。

子どもたちの健全育成のために防犯対策、補導にと種々お世話いただきます。

明るい町づくりのため、みんなで協力しましょう。

| | | |
|---|---|---|
| 大浜 | 新口 | 万一 |
| 中之浜 | 辻 | 修三 |
| 仁田之浜 | 梶谷 | 三郎 |
| 河内 | 土井 | 定治 |
| 湊浦一 | 兵頭 | 三郎 |
| 湊浦二 | 小松 | 健治 |
| 小中浦 | 尾崎 | 洋一 |
| 伊方越 | 兵頭 | 保 |
| 亀浦 | 清家 | 一男 |
| 中浦 | 中井 | 健二 |
| 川永田一 | 菊池 | 芳太郎 |
| 川永田二 | 中川 | 末広 |
| 豊之浦 | 井上 | 卓也 |
| 奥 | 岩見 | 喜太一 |
| 向 | 堀内 | 久一 |
| 畑 | 得能 | 作彦 |
| 須賀 | 池田 | 大吉 |
| 久保 | 松田 | 克之 |
| 西 | 根来 | 六夫 |
| 二見 | 上田 | 実彦 |
| 加周 | 山下 | 俊博 |
| 田之浦 | 古田 | 武春 |
| 古屋敷 | 井桜 | 蕉造 |
| 大成 | 中田 | 明義 |
| 鳥津 | 鳥津 | 光則 |

| | | |
|---|---|---|
| 会長 | 川上 | 輝幸（伊方小） |
| 副会長 | 尾崎 | 洋一（小中浦） |
| 〃 | 井桜 | 蕉造（古屋敷） |
| 監事 | 梶谷 | 三郎（仁田之浜） |
| 〃 | 山下 | 俊博（加周） |
| 幹事 | 菊池 | 英輔（公民館） |

### 母子保健推進員さん

母子保健事業の推進に協力いただく母子保健推進員さんが、決まりましたので紹介します。

母子保健推進員さんの仕事は、乳児健診などの連絡をするだけでなく、若いお母さん達のよき相談相手となってご活躍いただくことになっています。

| | |
|---|---|
| 大浜 | 吉平 昭子 |
| 〃 | 菊池タネコ |
| 中之浜 | 中田 洋子 |
| 仁田之浜 | 井村ヤエコ |
| 河内 | 長野シズ子 |
| 湊浦 | 宮内 房江 |
| 〃 | 梶田マス子 |
| 〃 | 徳永 千枝 |
| 小中浦 | 泉 三枝子 |
| 伊方越 | 崎野アサ子 |
| 亀浦 | 桧田ナツミ |
| 中浦 | 兵頭百合子 |
| 川永田一 | 宇都宮法子 |
| 〃 | 川崎サクコ |
| 川永田二 | 松岡 幸子 |
| 豊之浦 | 竹内 智恵 |
| 〃 | 宇都宮準子 |
| 〃 | 辻 マツミ |
| 奥 | 川内マツ子 |
| 向 | 菊池 喜子 |
| 畑 | 大橋 龍子 |
| 須賀 | 桝田チドリ |
| 久保 | 高田 英子 |
| 西 | 大野 政恵 |
| 二見 | 古田ヒフミ |
| 加周 | 稲田リツ子 |
| 田之浦 | 小島多恵子 |
| 古屋敷 | 古田マチ子 |
| 大成 | 鳥津 増子 |
| 鳥津 | 上田クニコ |
| 伊方婦人会 | 高野ナカエ |
| 町見婦人会 | |

## 一般会計予算 漁港建設費など 八千六百万円ふやす

（第97回定例議会）

今回の補正予算額は、八千五百八十九万円で当初予算額とプラスしますと二十三億八千八百四十三万円になりました。

補正された予算内容は、別欄で紹介しています。

### 給食費五円アップ

小学校 一五〇円
中学校 一七〇円 に

この給食費の値上げは、諸物価の高騰により給食センター運営委員会で検討され決定したものです。

給食費の増額による補正で三十九万円追加され、総額四千四百一万円になりました。

◎昭和五十四年度学校給食特別会計補正予算（第一号）

一食当り給食費が小中学校とも四月から五円アップされ、小学校が百五十円、中学校が百七十円になりました。

### 補正された予算内容

定例町議会で可決された一般会計補正予算（第一号）は、八千五百八十七万円ですが、その内容を簡単に紹介します。

この伊方大川沿線は、伊方小中学校、伊方保育所の通学、通園路にあたり子どもたちの危険防止のため設置するものです。

原子力発電所対策費で調査研修旅費二百四十万円が計上されています。これは、原子力発電対策特別委員、環境監視委員さん等が原子力発電に関する調査研修する旅費です。

◎民生費

出かせぎ労働者援護事業に十五万円。出かせぎ者に対して健康診断を行うほか〝ふるさとだより〟を発行して、出かせぎ者に声のたよりをだす費用などです。

地方改善事業として七百三十四万円。

この事業は、川永田成安線（延長二百十六m）を全面舗装するほか、危険力所にガードレールを百五十三m新設するものです。

このほか船場地区の飲料水設備工事として、送水ポンプを二台購入するいっぽう送水、配水管の布設替のほか、減圧設備一式をそろえた配水池（十二トン）もつくります。

◎衛生費

ゴミ焼却場の煙突をバンド補修するほか、ロストル修理をする費用百十二万円が計上されました。

◎農林水産業費

大成漁港の物揚場に水銀灯新設

川永田、田之浦、鳥浦、大成各漁港の局部改良事業に六千三百九十五万円がプラスされ総額一億一千三百九十五万円になりました。

また、伊方越、九町両漁港の整備事業も四百八十万円追加され合計七千五百万円になりました。

六月補正予算後、町内七つの漁港建設費は二億九千万円に達しました。

◎土木費

亀浦公園整備工事二百万円

亀浦の金比羅神社地に子どもの広場（四百七m²）を造成するほか、サツキ、ツツジ、かいづかいぶすきなど約百本を植樹して公園整備するものです。

◎教育費

町見武道館につづいて建設計画がなされている伊方武道館新築事業が二千二百五十万円ふやし総額一億七百万円になりました。

当初計画数していました構想面積より広くし、公式試合のできる柔剣道場に規模拡大するため増額となったものです。

建設予定地は、伊方中学校旧理科教棟地（町道側）です。

## 人事異動

六月一日付で役場の人事異動が発令されました。

今回の異動は、総務課長人事および企画財政課内に調査係、福祉課内に同和対策係を新設したことなどが、主なものです。こんごともよろしくお願い申し上げます。

◎町長事務部局

総務課長公室長
脇田 道（町長公室長）

住民課長兼住民係長
桝田信夫（会計室副収入役）

福祉課長兼町見公民館長
桝田信夫（住民課長）

総務課総務係長 上田 宏
（生活環境課生活環境係長）

税務課賦課係長 藤堂百男
（農業委員会事務局次長）

会計室主任 中井一男
（総務課主任）

福祉課同和対策係長 坪内光典
（産業課）

〃 児童福祉係長 兵頭千尋
（税務課）

生活環境課生活環境係長
山口保清（生活環境課）

町長公室主任
岡市徳広（税務課）

企画財政課井上島男（福祉課）

生活環境課 山本桂二
（町見支所）

税務課 岩見勝義（総務課）

産業課 森 一美
（農委事務局）

町見支所 高田恵美（総務課）

◎農業委員会事務部局

農業委員会事務局長 二宮 一
（福祉課長）

## 表彰

川永田の畑中敏行氏が八幡浜防犯協会長、八幡浜警察署長の連名表彰を受けました。

同氏は、長年にわたり町補導員、警察協助員として活躍され、その間、青少年の健全育成に尽力された功労により表彰されたものであります。おめでとうございます。

## 6月～8月 子供の水の犠牲者

## 交通事故の一・四倍

水の季節、毎年このころになると、悲惨な子どもの水の事故が目立って増えます。

水の事故は、一年中起きているのですが、とくに六～八月が多く、昨年は五百七十六人の子ども（中学生以下）が尊い命を落としています。

これは、同じ六～八月の子どもの交通事故死者四百十四人を百六十二人も上回っており、いかに〝水の犠牲者〟が多いかを物語っています。

子どもたちの水の事故は、ほんのちょっとしたスキに起こります。

例えば、親が立ち話に夢中になっている間に、防火用水にはまってしまったというようなケースもあります。

とくに、幼児の場合は自分で〝危険〟かどうか判断できませんので、保護者は子どもの身になって、安全を考えてあげてください。

子どもを水の事故から守るために、保護者はつぎのような点に注意しましょう。

▼子どもたちだけで、水泳や水遊びに行かないようにふだんから注意する。行くときは保護者などが同伴する。

▼イカダ遊びや、危険な水辺で遊んでいる子どもを見かけたら声をかけ、安全な場所で遊ぶよう注意する。

▼家の近くにため池や用水池、堀などがあって、サクとかフタがなく危険な状態のまま放置されているときは、所有者に申し入れて早く処置してもらう。

▼雨降りの後など川や用水が増水しているときは、子どもを近づけないよう、特に注意する。

## 水は大切に

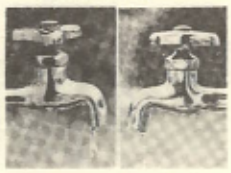
水の大切さは、いまさらいうまでもありません。もし、水道の水が止まったら、わたしたちの生活は即座にマヒします。家庭で、学校で、病院で、工場で――いたるところで立ち往生ということになります。

その半面、わたしたちは水道の便利さに慣れて、ややもすると、ふだんは水のありがたみをそれほど感じないで暮らしています。

ちょうど、健康なときは健康のありがたさを意識しないのと同じように。

ことしは、暖冬異変の影きょうで雪が少なく、水下足が全国的に心配されます。この機会にいま一度、暮らしの中の水の重要さを認識してください。

こんなムダが……



ポタポタ水 1時間で 約1リットル

糸状の水 1時間で 約8リットル

## この人 この趣味

### 竹細工づくり

鳥津清士さん（鳥津）

今回から「この人、この趣味」の欄をもうけました。

まず、トップバッタは鳥津の鳥津清士さん（七十一歳）です。

鳥津さんは、約十年前から先きの器用さを生かしてミニチュアのワラジ、ゾウリ、ゲタ（神戸ゲタ）、ツッカケを何自個もつくられ、自分のお孫さんや子どもたちにプレゼントしようこばれています。

また、この近年は、竹細工づくりに精を出され、今までに花瓶、灰皿、ペン立てなど六十余点もつくられたそうです。

どの作品も綺麗にとめてつくられており、見事な出来ばえです。

つい最近、大洲市で開催された老人の趣味の作品展にも出展されたとのこと。現在でも自分ではくゲタは手づくりのものを愛用されているそうです。

当人の鳥津さんは「海岸の波うちぎわに打ち上がっている竹を拾い集め、雨降りや風の強い日など、山仕事が出来ない時を利用して作っています。出来あがった品物は、親せき、縁者がほしいといって持ち帰えり手もとには少ししか残っていませんわい！」と好々爺の笑顔でこたえられました。

まったく、結構な趣味を持っておられると感心させられました。

なお鳥津さんは、鳥津老人クラブの支部長としても活躍されています。

「おとしよりに生きがいを」とよくいわれますが、こうした趣味を生かしての手づくりの竹細工づくりなども、老後を楽しく過す一つのコツでもあります。

おとしよりのみなさんには、こうした趣味を持たれ、ヒマを見て何かやってみませんか。一心不乱、手塩にかけて作った品物（作品）が完成した時の気分は、格別そう快なものがあると思います。

きょうも創意工夫して製作にはげまれる鳥津さん

### 係からお願い

町内には、いろいろな趣味を持たれ楽しく、それに取り組んでおられる方が、多くおられることと思います。

そこでこうした方々を紙上で紹介致したいと思いますので、係（町長公室）までご一報ください。取材にうかがいます。

## ながら俳句会

夏神楽女面どもる男声　西内ふじよ（松山市）

恐れつつ蛇の隠れし捷木解く　菊池あつ子（奥）

茶餐やひねもす聞きつ鍬振う　岩見あい子（奥）

百合生けて朝仏間に匂い満つ　城間ちづる（奥）

エビネ蘭花の十鉢を並べおく　渡辺なみえ（奥）

夏山やトンネル数多佐田岬　城岡さかえ（奥）

麦秋や鳥都に近づく汽車の旅　山口あさ子（畑）

## 伊方中こども郵便局が

### 四国郵政局長表彰

伊方中学校こども郵便局が優良三十九年）、郵政大臣表彰（昭和四十六年）などの輝やかしい表彰歴があり、優秀な伝統が受けつがれています。

伊方中学校こども郵便局は、昭和二十二年四月一日設立以来、毎月十五日を貯金日にきめ、生徒たちが、先生の指導によって自主的に運営がなされており、お互がお住いの阿部初男氏（九町出身）より一万円。大阪府大東市野崎四―二三八―三にお住いで株式会社「栄輝」の専務取締役店長の要職にある成田誠氏（伊方越出身）より一万円。大阪府四條畷市北出町三三―二にお住いで親輝金属工業株式会社取締役工場長の要職にある成田和助氏（伊方越出身）より一万円。東大阪市玉串町西一―二―三三にお住いで株式会社「栄輝」、親輝金属工業株式会社と三つの会社を経営され代表取締役社長の要職にある大山泉氏（伊方越出身）より一万円。明石市鳥羽五五五にお住いの角津正貴氏（大成出身）より五千円。

堺市城山台三丁一番四―二〇二にお住いの菊池常芳氏（川永田出身）より五千円。松山市立花一丁目二〇―一〇にお住いの川口万寿夫氏（二見出身）より五千円。

宇和島市柿原一区一二九〇にお住いの井上方喜男氏（須賀出身）より一万円。

それぞれ広報編集費用にとご寄附いただきました。紙上より厚くお礼申し上げますとともに、こんごますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

### ＝お礼＝

## 自衛官募集

防衛庁では、現在陸上、海上、航空の各自衛官を募集しています。

応募資格は十八歳～二十五歳未満の日本国籍を有する、心身とも健全な男子で中学卒業以上の学力のある者です。

○給　与

初任給　八五、八〇〇円

ボーナス　年間約五カ月分

○衣・食・住

全部無料で支給または貸与。

くわしく知りたい方は、役場町長公室または愛媛地方連絡部大洲募集事務所（電話〇八九三―二四―四一二三）までご連絡ください。

なお、当町ではつぎの方々が募集相談員として委嘱され相談に応じています。

木戸　五郎（河内）

脇田　道（九町）

樫尾　寛（田之浦）

## 人口

昭和54年5月末現在　世帯数2,555戸（＋12戸）

人口 8,952人（＋27人）｛男4,290人（＋15人）｝｛女4,662人（＋12人）｝

### えんむすび

昭和54年5月1日～5月31日

### お誕生おめでとう よい子に育ってください

昭和54年5月1日～5月31日

### おくやみ

昭和54年5月1日～5月31日

## バトンタッチ

六月一日付の人事異動によって広報編集担当者が、図元から岡市にバトンタッチされました。編集は、いままで同様町長公室です。

広報紙は町民のみなさんと町行政を結ぶパイプ役として重要な役割を果すもので、地方自治体にとってかけがえのできないものの一つであります。人間の顔がそれぞれちがうように、広報紙にもその自治体の特色や担当者によって紙面の顔かたちがちがってまいります。

広報紙づくりは、町民のみなさまに親しまれ、読まれるものであることが先決です。

内容不充分ですが、町民参加の広報紙づくりに努力いたしたいと存じます。

とんでもない、よろしくと指導いただきますようお願い申し上げます。なお、楽しいニュース、心あたたまるニュースなどありましたらご一報ください。（編集っ子）